

熱間鍛造製 ボルト・ナット

熱間鍛造とは

高温に熱した金属を成形を行い、高い強度と靱性を得る事が出来る鍛造加工法のことです。

金属を熱することで、柔らかい状態にし大きな変形を伴う加工が可能です。



材料はバー材を使用することにより、冷間鍛造と比べて比較的小ロットでの生産が可能であり、さらには金型代も冷間鍛造と比べて安価になります。

六角ボルト・六角ナットのみならず特殊形状含む加工品全般可能で御座います。

